

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-01-03-10
事務事業名	心身障害者福祉年金給付事業		備前市心身障害者福祉年金条例
事業開始年度	昭和42年度		
総合計画	大項目	基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	障害者(児)福祉
問合せ先	担当課(室)	日生総合支所 市民窓口課	
	職・氏名	副参事 藤原弘章	
	電話	72-1104	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	備前市日生町に居住し、満20歳以上で身体障害者手帳1級～3級、又は療育手帳Aの交付を受けている者
目的(何のために)	心身に障害のある方に対して障害者福祉年金を支給し、感謝激励する
行政活動(どのような方法で)	年額4400円の年金を障害者本人の口座へ振り込む
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	支給の権利がある障害のある方すべてに年金を支給する

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	支給人数(前期)	人	229	236	238
	支給人数(後期)	人	238	230	238
	直接事業費	千円	2,998	1,984	983
	人件費	千円	404	380	374
	事業費計		3,402	2,364	1,357
	国県支出金				
	受益者負担				
	一般財源	千円	3,402	2,364	1,357
	必要人員	人	0.15	0.05	0.05
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	年金の支給人数(前期)	説明	229	236	238
結果指標	結果指標量	人	229	236	238
結果指標	対前年比	%	-	103.1%	103.5%
結果指標	活動コスト	円	3,402,000	2,364,000	983,000
結果指標	単位当たりコスト	円	14,856	10,017	4,130
結果指標	年金の支給人数(後期)	説明	238	230	238
結果指標	結果指標量	人	238	230	238
結果指標	対前年比	%	-	96.6%	103.5%
結果指標	活動コスト	円	3,402,000	2,364,000	983,000
結果指標	単位当たりコスト	円	14,294	10,278	4,130

事業の成果			
成果指標名	申請率	式又は説明	支給人数/対象障害者人数
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	92.2%	100.0%	100.0%
対前年比		108.46%	100.00%
到達目標値	100.0%	到達目標年度	平成19年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A~E> C
	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要はない	事業対象者が日生地区に限定されており、平成19年度で事業完了
	行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である <input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	効率性評価<A~E> B
	手段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	支給額は前年度比で半額に減額している
	職場	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	支給対象者は障害者手帳の交付時に把握しており、対象者の把握は完全にできています
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	
	課題認識		

平成20年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了	
目標値	結果指標量	結果指標量
成果指標量		

総合評価		評価区分<A~E>	
合併時の申し合わせにより平成19年度で事業完了			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で真正・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果